

【重要なお知らせ】

2020年12月29日
一般社団法人日本実業団陸上競技連合

カネボウ陸上競技部が出場を辞退、大会は36チームで開催する予定

第65回全日本実業団対抗駅伝競走大会（1月1日、群馬県）に出場を予定していたカネボウ陸上競技部から、チーム関係者に新型コロナウイルス感染症の陽性者が確認されたことを受けて、大会出場を辞退する旨、連絡がありました。大会を主催する一般社団法人日本実業団陸上競技連合は、チームの判断を尊重し、辞退を承認いたしました。感染症対策のさらなる徹底を呼びかけ、大会は36チームの参加で開催を予定しています。

なお、チームが群馬入りする前の陽性者確認です。

大会要項では、大会の開幕3週間前以降にチーム関係者に陽性者が確認された場合の対応を、以下の引用抜粋規定の通り、定めています。

抜粋した規定の赤字部分に記載の通り、陽性者並びに保健所が濃厚接触者と認定した競技者・監督・コーチ等以外のメンバーでチームが編成できる場合、大会出場の是非は企業判断を尊重することとしています。今回、カネボウは、この規定に沿って、辞退を判断され、主催者としても、その判断を重く受け止めることとしました。

（以下、大会要項からの抜粋）

*各大会の開幕3週間前以降に競技者・監督・現場指導コーチのいずれかに新型コロナウイルス感染が確認された場合、当該の感染者は大会参加を辞退するか、もしくは主催者が大会参加を取り消します。

大会にエントリーしている同一チーム所属の競技者・監督・現場指導コーチ等が保健所から濃厚接触者と認定された場合については、当該濃厚接触者が、厚生労働省の方針に則りPCR検査を受け陰性となり、かつその後14日間にわたり健康状態を観察する期間を経過し、症状が出ていない場合は、各所属先企業の判断を尊重することとし、それに該当しない場合は、大会参加を辞退するか、もしくは主催者が大会参加を取り消します。

保健所が濃厚接触者と認定しなかった競技者・監督・コーチ等の大会参加については、各所属先企業の判断を尊重します。

カネボウによると、チーム関係者に陽性者1名が確認されたことに伴い、企業判断でチーム内関係者がPCR検査を受けたところ、他に1名の陽性が確認されたとのこと。また、最初の陽性者の濃厚接触者として1名が保健所によって認定されています。なお、2人目の感染者の濃厚接触者はいませんでした。

当連合は今回の事態を重く受け止め、感染症対策の徹底を大会関係者に改めて呼びかけます。体調が少しでも芳しくない大会関係者には大会への参加を禁じます。開催地の群馬県への移動中、群馬入りした後、チーム関係者以外との接触を避けるだけでなく、チーム内であっても多人数での会食を控えるなど、必要以上に接点を持たないよう注意喚起します。

また、出場チーム以外の大会関係者にも、密接・密集・密閉の「3密」を徹底して避けるなど、安全に対する強い意識を持つよう促し続けます。

一般社団法人日本実業団陸上競技連合
事務局 03-6268-0218